

船舶事故調査報告書

平成21年10月22日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員長 後藤 昇 弘
 委員 楠 木 行 雄
 委員 横 山 鐵 男（部会長）
 委員 山 本 哲 也
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年2月5日 08時ごろ～09時ごろの間）
発生場所	不明（本船発見場所は、広島県福山市福山港玉津島防波堤東灯台から真方位140°5,850m付近（概位 北緯34°20.1′ 東経133°25.4′）であった。）
事故調査の経過	平成21年2月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第三 ^{こうえい} 広栄丸、4.94トン HS3-34595（漁船登録番号）、個人所有 9.50m(Lr)×2.60m×0.78m、FRP ディーゼル機関 漁船法馬力数15 昭和53年5月26日
乗組員等に関する情報	船長 男性 79歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年12月24日 免許証交付日 平成17年4月14日 (平成22年4月29日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年2月5日07時過ぎ、船長1人が乗り組み、底びき網漁の目的で、福山市箱崎漁港を出港した。08時ごろから福山市走島西方沖において、底びき網のえい網を開始した船長を僚船が目撃した。09時ごろ、付近を航行中の漁船が、福山港玉津島防波堤東灯台から真方位140°5,850m付近において無人の本船を発見した。 船長は、同日10時30分ごろ福山港玉津島防波堤東灯台から真方位166°4,500m（概位 北緯34°20.2′ 東経133°23.6′）付近で、捜索中の僚船により発見され、死因は溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ 海象：海上 穏やか
その他の事項	本船は、発見時、機関作動中であり、船尾からえい網索が出た状態で、北に向けて低速力で前進していた。 船長は、発見時、救命胴衣を着用していなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 船長は、底びき網をえい網中に落水したことにより死亡した可能性があると考えられるが、落水した状況については、明らかにすることができなかつた。
原因	本事故は、本船が走島西方沖において、底びき網をえい網中、1人で乗り組んでいた船長が、救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	